資料１－１

平成24年度科学技術関係予算の重点化と専門調査会の活動について

平成23年11月24日

科学技術政策担当大臣
総合科学技術会議有識者議員

平成24年度科学技術関係予算の重点化について

第4期科学技術基本計画
（平成23年8月閣議決定）

・分野別から課題達成型への転換
・科学技術とイノベーションの一体的推進

重要課題の達成に向けた平成24年度科学技術関係予算の重点化

最重点：科学技術重要施策アクションプラン

- 最優先で取り組むべき課題を総合科学技術会議が概算要求前に設定
- 関係府省による251件の提案から、課題の達成に向け最重点で進めるべき150施策を具体化

重点：重点施策パッケージ

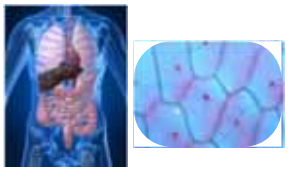
- 各省が推進しようとする課題達成に向けた施策パッケージを概算要求後に提案
- 科学技術政策担当大臣・有識者議員が重点化すべきパッケージを特定

設定した政策課題の達成

政策課題の例

災害から命・健康を守る

クリーンエネルギー供給の安定確保



身体・臓器機能の代替・補完

世界トップレベルの基礎研究の強化

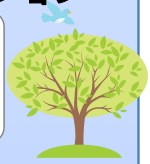
目指す社会の姿

復興・再生並びに災害からの安全性向上

- 東日本大震災からの復興・再生を遂げ、地域住民がより安全に暮らせる社会
- 東北地域の復興・再生をモデルとして、より安全、かつ豊かで質の高い国民生活を実現する国

グリーンイノベーション

自然と共生し持続可能な環境・エネルギー先進国

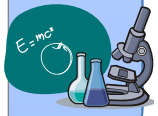


ライフイノベーション

- 心身ともに健康で活力ある社会
- 高齢者・障がい者が自立できる社会

基礎研究の振興及び人材育成の強化

世界共通の課題を克服し、豊かな国民生活を実現し、科学技術を文化として育み、多様な人材を育成確保する社会



専門調査会の活動

科学技術イノベーション政策推進専門調査会

科学技術イノベーション政策推進専門調査会の設置

第4期科学技術基本計画に掲げられた重要事項に関して、ＰＤＣＡサイクルの実効性の確保、政策の推進について調査･検討を行うため設置。

果たすべき役割

我が国の科学技術、イノベーション創出力の発展および質的向上をもたらし、結果として国際競争力向上に資するため、以下の事項について審議を行い、提言･提案をまとめる。

○重点的かつ優先的に取り組むべき骨太の課題、施策、政策
○科学技術イノベーションの推進に向けたシステム改革を進めるための取組の方向性

提言･提案については、総合科学技術会議へ付議され、科学技術政策に反映

評価専門調査会

大規模研究開発の評価

国費総額約３００億円以上の大規模研究開発等を対象（平成２４年度は4件の事前評価を実施中）。
○日本海溝海底地震津波観測網の整備及び緊急津波速報（仮称）に係るシステム開発
○超低消費電力型光エレクトロニクス実装システム技術開発
○高効率ガスタービン技術実証事業費補助金
○石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業費補助金

評価のルールづくり

国の研究開発評価のガイドラインである「国の研究開発評価に関する大綱的指針」（平成２０年１０月最終改定）を見直すべく、科学技術イノベーション政策の一体的な展開、PDCA サイクルの構築に対応する観点から、評価システムのあり方を検討中。

生命倫理専門調査会

現在の検討課題

生命科学研究の進展に伴う新たな生命倫理上の課題について調査･検討中。
○ ＥＳ細胞や、iＰＳ細胞を用いたヒト受精胚作成の是非